

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	第二回ワーママ夢サミット					
実施団体名	バリママ倶楽部					
協働団体	① 株式会社ありがとうサービス / ② 子育て支援課 / ③ 一般社団法人ANT (なみっこ交流館)					
テーマ提示課 テーマ	市民生活課 人権啓発室 ジェンダーギャップ (男女格差) 解消への取組					
事業概要	<p>【事業目的】 今治市を中心とした20代~40代の働くママ等女性を対象に、今までとは違う働き方を始めるためのセミナーやサポートを行い、あらゆる面でのジェンダーギャップを解消するきっかけを創り出す。</p> <p>【事業内容】 ①複数回に渡るオンラインセミナーの実施 ②前回受講生や講師陣とのコミュニティ構築 ③受講生へのサポート</p>					
補助額	市補助額	1,000,000	総事業額	1,441,789	補助対象経費	1,432,304
コ メ ン ト	実 施 団 体	<p><事業を実施しての効果> 起業に対する壁やブロックを認識できたとの感想の声。参加者同士の事業のコラボなどの交流</p> <p><事業を実施しての問題点> 少し先の先輩の声、目指す理想の女性、の姿に需要がありそうだった</p> <p><問題点に対する解決策> 今後は単発セミナー等を開催予定</p>				
	市 民 活 動 推 進 委 員	<p>(1) 公益性 ・先駆性はあると思う。市民に広く知られているか? ・女性の社会進出の支援に効果がある。</p> <p>(2) 継続性及び発展性 ・継続性について表明があり、評価したい。 ・自分で直接集客するなど、参加者を集める方法を見直し、これからもママのために継続して行ってほしい。</p> <p>(3) 実現性 ・計画どおりに実施できている。今後協力してほしい団体等はあるか。 ・講師の費用が多くかかりすぎているように思う。費用対効果を見直すことで継続できる事業になるのではないか。</p> <p>(4) 団体の評価 ・計画性や行動力があり、今後の活動が期待できる。もっと仲間を作って継続してほしい。 ・外部委託が多いので、学んだことを実践 (ワーク) する機会があればよかったのでは。</p> <p>(5) 協働の必要性和効果 ・課題やニーズをもっと調べることで、協働事業の効果が期待できると思われる。</p>				

テーマ型協働事業に対するコメント概要

事業名	第二回ワーママ夢サミット	
実施団体名	バリママ倶楽部	
コ メ ン ト	市 民 活 動 推 進 委 員	<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の謝金が費用のほとんどを占めているのは少々つらい。 ・目的がジェンダーギャップ解消の「きっかけ」を創り出すことなので、少しずつでもという観点からは評価できる。事業がきっかけの起業者も4名いるということなので、期待したい。 ・活動の目的も内容も良いと思うが、参加人数が少なく費用対効果が少ないのが残念である。市からの補助金がなくなっても出来る範囲で、女性の生きやすい魅力のある今治になるよう活動を続けていただきたい。 ・時代を先取りしたニーズの高いものなので今後に期待したい。 ・とても素晴らしい内容であるが、今治市民にとっては、SNSの環境及び参加費等、ハードルが高いのではと感じた。起業だけ、ママだけではなく、女性の社会参加等、幅広いものにしていくことで、よりよい効果が得られるのではないかと。今後の活躍に期待したい。 ・参加者が自立するヒントになるのであればいいと思うが、やはり費用に対しての今治市民への還元が少ない。オンラインでの実施体制ができていますので、もう少し集客してほしい。
	テ ー マ 提 示 課	<p>(1) 公益性 女性の社会進出やジェンダーギャップに関する事業を実施しており、市も積極的に取り組んでいるSDGsの推進につながるものと評価できる。</p> <p>(2) 継続性及び発展性 女性の活躍を推進するため、広報の仕方等を工夫し、さらなる発展につなげていただきたい。</p> <p>(3) 実現性 7回のカリキュラムの内容は魅力的で女性の活躍を推進するものであり、評価できる。しかしながら、実施回数及び参加者数に対し、講師等謝礼金の金額が高く、今後の活動において改善が必要と考える。</p> <p>(4) 団体の評価 事業実施体制についてはおおむね問題ないと考えるが、会計事務等を適切に行う体制を構築いただきたい。</p> <p>(5) 協働の必要性和効果 株式会社ありがとうサービスとの協働による講演会の開催により、集客等協働の効果を発揮できたと考える。他の事業においても他の団体と協働するなど、効果的な事業の推進につなげてもらいたい。</p> <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍推進、ジェンダーギャップに関する意識啓発につながる事業を実施しており、オンラインでの開催や託児の実施など、参加者の利用しやすい環境づくりを行っている点が評価できる。 ・セミナー等の開催において国や県の講師派遣事業を活用するなど費用面での工夫や、他団体との協働の推進、効果的な広報の実施などにより、ジェンダー平等社会の実現に向けて今後も積極的に取り組んでいただきたい。